

宿泊施設の紹介

※ご宿泊の際は必ず事前に予約を入れてください。
島内の宿泊人数には限りがあり特に島内行事の前後は満室になる可能性が高く、ご宿泊できない場合がございます。

注意 バスタオルは、必ず持参して下さい。

民宿あがり浜



島で唯一の遊泳できる浜「あがり浜」がすぐ側です。食事に島の料理が必ず一品付くのが嬉しいです。

住所：渡名喜村1821
電話：098-989-2888
1泊2食付：6,000円 1泊夕食：5,000円
設備：各部屋クーラー・シャワー付(全室禁煙)

民宿ムラナカ



島で一番新しい民宿。港や役場に一番近いです。

住所：渡名喜村1866
電話：098-989-2626
1泊2食付：6,500円 1泊朝食付：5,000円
1泊夕食付：6,000円 素泊まり：4,500円
設備：各部屋クーラー・トイレ付(全室禁煙)

民宿となき



黄色い建物が目印。里のお宮やあがり浜にも近いです。 ※休館中

住所：渡名喜村940
電話：098-989-2041
1泊2食付：5,000円 1泊朝食付：4,000円
素泊まり：3,000円
設備：全室クーラー完備

赤瓦の宿 ふくぎ屋



ふくぎ並木と石垣に囲まれた、赤瓦屋根の昔風な素敵な一軒家です。

住所：渡名喜村1909番地
電話：098-989-2990
※宿泊は2名以上から。1人の場合、別料金
1泊2食付：7,000円(1人9,000円)
子供(5歳~小学生以下)5,500円
団体割(10名様以上)6,500円
長期滞在型(7泊8日以上)6,000円(1人8,000円)
設備：全室クーラー完備

飲食店・その他の紹介

※商店はだいたい夜8時くらいまで。食堂は大人数の場合事前予約がないと対応しきれない場合があります。

又吉(またよし)商店



営業時間
8:00~20:00 (不定休)

桃原(とうばる)商店



営業時間
8:00~20:00 (不定休)

島豆腐屋



島豆腐屋は注文分しか作らないので要予約。前々日又は前日の午後5時までに予約してください。
電話：090-7451-7908

売店



売店には珍しい島の特産物が並びます。ターミナル解体に伴い、現在は観光案内所1階にて出港時間に合わせて営業中。

鮮魚ひめり



近海で獲れた新鮮な刺身や季節物の海の特産品がここで手に入る。不漁のときもあるので午前中に要確認のこと。
電話：098-989-2129 / 090-4353-1145

ふくぎ食堂



営業時間
11:30~13:00 (ランチタイム)
17:30~23:00 (居酒屋タイム)
(日曜日定休)
※居酒屋タイムは一週間前に要予約
電話：098-989-2990

あとあ食堂



営業時間
不定期営業：要予約
電話：090-3792-5134

憩い処西門(ゆくいどうくるいりーじょー)



営業時間
19:00~23:30 (夏季)
18:00~23:30 (冬季)
(定休日：月曜または木曜日)
貸自転車も行っていきます。
詳細は西門へお問い合わせください。
電話：090-1230-9049

渡名喜島へのアクセス方法



運行時刻表 (2019年10月1日~)

那覇(泊)発→渡名喜島発着→久米島着				
便名	区間	那覇(泊)発	渡名喜島着	久米島着
1	便	09:00	10:55	11:10 12:30
2	便(月曜日除く)	14:00	-	17:00

久米島発→渡名喜島発着→那覇(泊)着				
便名	区間	久米島発	渡名喜島着	那覇(泊)着
1	便	09:00	10:20	10:35 12:30
2	便(月曜日を除く)	14:00	-	17:00
2	便(金曜日のみ)	14:00	15:20	15:35 17:30

※4月1日~10月31日期間中、金曜日みの運行になります。
★月曜日は那覇(泊)発、久米島発とも2便(14:00発)は運休となります。

料金表

那覇→渡名喜島		
	大人(12才以上)	小人(6~11才以下)
片道	2,750円	1,380円
往復	5,230円	2,480円

※天候状況、季節、船のドック入りなどでスケジュールに変更がある場合があります。ご乗船の前に必ずお問い合わせ下さい。

久米商船株式会社
本社/TEL:098-868-2686
FAX:098-866-5855
渡名喜営業所/TEL:098-989-2479
http://www.kumeline.com/index.html

主な施設電話番号

■観光案内所
管理：(一社)渡名喜村観光協会
TEL:098-996-3758
□渡名喜島の観光案内ホームページ
http://www.tonakijima.jp/
■沖縄県渡名喜村役場
〒901-3692 沖縄県島尻郡渡名喜村1917番地の3
TEL:098-989-2002(総務課)
-2317(民生課)
-2066(経済課)
FAX:098-989-2197(共通)
□渡名喜村役場ホームページ
http://www.vill.tonaki.okinawa.jp

■渡名喜村教育委員会
渡名喜村1917-3 TEL:098-989-2015
■渡名喜村パークゴルフ場
渡名喜村字脇原2270-3 TEL:098-989-2055
■渡名喜診療所
渡名喜村1916-1 TEL:098-989-2003
■渡名喜村警察官駐在所
渡名喜村1919 TEL:098-989-2019

■渡名喜郵便局
渡名喜村1977 TEL:098-989-2004
■渡名喜漁業共同組合
渡名喜村1997 TEL:098-989-2427

救急時の対応 -24時間-
沖縄県消防司令センター
119

沖縄県

渡名喜島 リゾートでは体験 できない、体験

素朴な旅をしよう。

渡名喜島観光案内ガイドマップ



観光情報はこちら
をチェック!



温もりの海郷
となき島
渡名喜島



最新情報は役場ホームページまで 渡名喜島 検索

渡名喜島ガイドマップ

渡名喜島全体図



1 竜宮を祀る拝所と歌碑
ターミナル横にある。歌碑の隣に拝所があるため、まるで来島する人たちを出迎えているよう。



2 ていだ広場
村民憩いの大きな広場。日中は広場横の東屋で休憩することができ、夕方には夕日を、夜には星空を眺めることが出来るお勧めスポット。



3 渡名喜番所
渡名喜小中学校跡のふく木群。ふく木並木の多い島内でもこれは特別。樹齢250年を超えていると言われる荘厳なフク木群。



4 島尻毛散策道
目の前に広がる草原と、どこまでも広がる大海原。初めての人はぜひ一度は訪れて欲しいポイント。



5 各字にある井戸
昔は貴重な水源として利用されている。現在はシマノーシなどの祭祀の際祈願場所となりそれぞれに名前がある。



6 渡名喜村観光案内所
港からすぐの場所にある観光案内所。渡名喜の観光情報はここで確認しよう。ひと休みにおすすめ。開館時間：8:30~16:30 休館日：12月29日~1月3日 観光窓口：不定休



7 パークゴルフ場
天然芝による18ホール、総延長710mのコースです。子供から大人まで世代を超えて楽しむことができます。
●休館日：毎週水曜・木曜日/毎月第4金曜日 6月23日(慰霊の日)/12月28日~1月3日(旧正月(旧1月1日))



8 大本田(ウーンダ)展望台
大本田からは久米島・粟国島・慶良間諸島が一望できる。その立地の特性を生かして、王朝時代には烽火台が設置され、久米島から座間味島への烽火を取り次いでいた。



9 西森園地展望台
島北部にある西森園地の遊歩道を上がると、息をのむような絶景が広がり、入砂島も見える。



10 里御嶽
島内随一の信仰地。~15世紀頃のグスク時代の遺跡であり、当時の生活を支える建築跡や土器、陶磁器、鉄釘などが発見されている。



11 入砂島
NHKドラマ「ちゅらさん」のオープニングで使われた島。無人島ですが、米軍の射撃訓練場となっていて立入りは禁止されている。



12 神様の休憩所
他島から来た神様が休憩すると言われている場所。神秘的な雰囲気にもなっている。



13 ふくぎのトンネル
ふくぎの枝がトンネルになっている道。100年以上前からあるといわれている。



14 フットライト通り
役場から東浜まで続く村道1号線は、夜になるとフットライトで美しくライトアップ。昼間とは違う、幻想的な雰囲気に包まれた白砂の道が楽しめる。

となきの観光ガイドマップ

●集落

路面より低い層敷、ふく木の垣根、白砂の道路など沖縄の昔ながらの面影を今に残す渡名喜島独特の景観は映画「群青」のロケ地に指名されたほど。平成12年に国から島全体を重要伝統的建造物群保存地区に選定された。



緑のフクギ並木、白砂の道、路面より低く建てられた赤瓦の家。集落全体が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。美しい家並みと大自然、珍しい植物など、ゆっくり探訪してみよう。



●ハブに注意！



渡名喜島はハブが多く生息しています。林道、遊歩道からはずれて山、茂みに入らない様にして下さい。もし、ハブに噛まれた場合は24時間制で救急対応していますのですぐ連絡してください。

〈救急連絡先〉119 沖縄県消防指令センター

●チキシ

昔は各字に5つあった石だが現在は1つだけ。重さ約50~70kgの丸い石でその昔、夜になると若者がこの石を地面にたたきつけて悪霊よけをしていたとのこと。



●カワラナデシコ

平成4年7月に村花に指定された。村のあちこちで見かけることができる。

科名：ナデシコ科/属名：ナデシコ属
和名：河原撫子
学名：Dianthus superbus var. longicalycinus
名の由来「なでしこ」は、万葉集・山上億良(やまのうえのあくら)の、秋の七草に記述がある。その後、中国から「なでしこ」に似た植物が渡来した、それを「唐撫子(かなでしこ)」として、日本由来の「なでしこ」を、河原撫子(かわらなでしこ) 大和撫子(ヤマトナデシコ)と区別した
平成4年7月1日に村花に指定される



●ヒーターティ

唐船が那覇に行く際、急ぎそれを王府に知らせるための監視台。船が見えたら狼煙をあげて久米島~渡名喜~座間味~とリレーして王府に伝えていた。現在は整備されておらず、その場所に行くことはできない。



●農地の地割遺構

渡名喜島の地割制度の遺構は、沖縄独自の土地制度=地割制度で、20世紀初頭まで県内各地で存続していた土地の部落共有制度。このような独特な地割制度によって形成され整然とした耕地は、近年のほ場整備事業によって大部分が改められたが、現在でもその一部が保存されている。写真の場所は東大道原地区



●段畑

渡名喜集落を取りまく山丘を見ると、山頂に至るまで段々畑跡のあることが確認できる。これは、島の耕地が乏しいことから、明治20年代に食料増産のために山を焼いて開墾地を広げた結果。当時、農業は主に女性がたずさわり、段々畑では芋、麦などが栽培された。段々畑を造成する際に土止めの石垣を築いた跡が山付近まで残っている。



●カイヤ跡

首里王府より穀物検収のために派遣された役人が、借宿にしていた敷地跡。個人の所有する土地だったが、その由緒ある歴史から村に寄付された。



●沖縄県最短の県道

その名も「沖縄県道188号線渡名喜港線」といい、総延長25mという驚きの短さ。写真の左側手前に写る建物の端から、中央よりやや右側奥に写るフットライトが村道1号線の起点までのこの道は、沖縄県内を通る国道・県道ではもっとも短い。



●上門家

島の初代村長を勤めた上門家。建築年代は不詳だが、琉球石灰岩の立派な石垣で囲まれ、立派なお屋敷だったことを伝えている。

●ウミガメ

ウミガメの島と呼んでも良いほど、渡名喜島ではウミガメを頻繁に見ることが出来る。多くのウミガメが産卵を行う呼子(ユブク)浜や、1年中ウミガメが顔を出すアンジェーラ浜がお勧め。潮が満ちている時間帯にはアンジェーラ浜の道沿いから海をのぞいてみると高確率で出会う。



●ウミガメ観察お勧めスポット

呼子浜とアンジェーラ浜の他にもウミガメが現れる場所があるので散歩の時には海を覗いて見てみよう。

★ウミガメスポット



●アハラー墓

その昔、渡名喜島との戦いでなくなった渡嘉敷島阿波連の人のお墓と伝えられているが、近年の研究では村民の祖先を埋葬したお墓ということが分かっている。



●水田

里御嶽の奥にあり、シマノシ前にはシマノシで使用する稲を植えている。山の上にあるにもかかわらず、水がわき出ている不思議な水田。水田までの道のりは昔ながらの畑道のため、雨の日や草が生い茂っている場合は気を付けよう。



●いちばん深い家

島の家は暴風対策のため路面より掘り下げて建てられている。昔は低いほど金持ち又は働き者と言われていた。この家は現在最も深く高低差1m55cmある。



●タレーマ墓

海で遭難して亡くなった宮古多良間島の人を葬ったお墓と伝えられている。大きな岩の間に人骨をそのまま置いているそうで 入口から見えないように、小さな石を積んで遺骨を守っている。



●神の宿る岩 (イェーンシジ)

入砂島の神様が海を渡って来るといわれている神聖な場所。地元では「神の岩」と呼ばれている。



●カーシリのヌーチュヌーガ御獄

ここから上にと拝所がある。干ばつ時に島の神女たちによる雨乞いの行事が行われる唯一の場所。ただし普段は整備されていないので一人で登るのはやめよう。



●ヤシガニ

じつはいるんですこの島。最近では、あまり大物が見られなくなりました。(写真提供:伊藤泰人)

採取・捕獲は禁止されていますので観るだけにしましょう！

こんなに小さな島だけど、ほかにはないこんなに大きな財産がある。



●柴差し

家の入口などによくあるスキの葉の魔除け。

●アマンジャキ (昔の歩道)

昔は満潮になると海岸線の道が使えなくなった為、険しい山道に登って家に戻っていたが、先人達が苦労してこの道を築き上げた。現在は使用されていない歩道で2億5千万年前の岩肌が露出していて見る者を圧倒させる。



●天の川
星空がきれいに見えるのもこの島の特徴。本島では見にくい星もここならきれい見える。



海神祭

●ハーリー（海神祭）

旧暦の5月4日に、島の基幹産業である水産業を振興し、航海および操業安全と大漁を祈願します。



島の男達が、各字に分かれて競い合うアガイバーリーは迫力満点！各字の男達が誇りをかけて戦います。



漁船パレードが終わると始まるマンガシ。大人も子供も大はしゃぎで船からまかれお菓子ももらいに走り回ります。



本ハーリーともなれば各字の応援合戦も徐々にエスカレート！なんてたって字の名譽がかかってますから。

水上運動会

●水上運動会（写真：2009年・第91回）

大正8年に第1回水上運動会が開催されて以来、大太平洋戦争のとき4回中断した以外は毎年開催されている伝統ある行事です。全国でも珍しい海浜での運動会で、四方を海に囲まれた渡名喜ならではの行事といえます。小・中学校、幼稚園にとどまらず、島民総出で水中綱引きや海中での球技、応援などを楽しんでいます。



同じ綱引きでも海中だとまったく別物で面白さ倍増。大人でも楽しめる運動会です。



百年の伝統を持つ海での運動会。綱引き、歌、踊りと夜更けまで盛り上がるカシキー！この島の夏は、祭りが熱い！もちろん参加は自由なので気軽に楽しんでください。

となき祭

●となき祭り

島中が一体となって行われる祭りで、毎年カシキー（綱引き）の前日に行われます。渡名喜港前の祭会場では島で採れる農作物や民芸品、屋台などが出店するほか、様々なイベントが催されます。また、夜になると花火ショーが行われ渡名喜島の夜空に綺麗な花火が打ち上げられます。



カシキー

●カシキー（綱引き）

旧暦の6月25日に行われる行事で新穀の豊穰を歡喜する刈上げ祝、豊年祝、豊作の感謝、来年の豊作祈願とともに若者の栄えを祈願します。東区と西・南区の2箇所で同時に行われます。島の夏の風物詩であり、島民はもとより沖縄本島にいる島出身者も多数参加して、日頃は静寂な島もこの時は夜更けまで歌や踊りで活気づきます。



●ウバニクイ

かけ声とともに各家庭をまわると出て来るお土産の数々。こうして島中の人々みなでお祭りを盛り上げています。



この日だけは無礼講で、子供も大人も夜通し遊ぶ。それがルール。もちろん観光客も参加OK。島民に負けずに遊ぶのだ。

渡名喜出身者も帰省してくる島の一大イベント！老若男女問わず、各字ごとに分かれて綱引きをします。夜の綱引きなんてやったことある？

シマノシ

●シマノシ（島直し）

ミチュマルガナシーや、シヌグ祭とも言います。3年まわり（1年越し）に行われる祭祀で、豊年、大漁、航海安全、健康など、島民の生活に深くかかわりのあることを祈願します。現在、7名の神女（カンジュナ）がいて、5日間にわたって行われます。祭りをとり行う場所（トゥン＝殿）は4ヶ所あり、神女は朝8時頃ノロの家に集まり、潮が満ちかける時刻に合わせて、神道を通り各トゥンで4日間、トゥンニンジュ（祭り集団）と共に礼拝を行います。



殿頭（トゥンガシラ）の指揮のもと、地区住民がそれぞれの祠に集まり、祈りを捧げます。昔のままの神事を見事なまでに忠実に再現できている島は、この渡名喜島以外にはもうない。



殿頭の家で作ったお神酒をいただき、持ち寄った料理をみんなで食べます。何百年も続く渡名喜島の伝統行事。

サンゴや動植物・鉱物は、観るだけに留めてください。採取や持ち帰ることは禁止されています。（昭和56年3月20日 条例第10号）

Please enjoy the sights of the corals, animals, plants, rocks and minerals where they are in their natural surroundings. Collection is prohibited.

ウミガメの産卵・ふ化にあたってのお願いと注意

- 夜、砂浜に上陸するウミガメを見たら、音をたてたり光を当てて刺激をしないでください。また、ウミガメの視界に入ることも禁物です。離れて静かに観察するようにしましょう。
- 産卵後のウミガメの足跡や、産卵場所に立ち入らないようにしてください。
- ウミガメの卵の採取や持ち出しは「沖縄県漁業調整規則」で禁止されています。違反すると罰せられます。
- ウミガメにとっても安心できる豊かで美しい渡名喜島の自然を守るためにも、ルールとマナーをきちんと守るようにしましょう。

[Notice Concerning Sea Turtles & Their Eggs]

If you see sea turtles come to shore in the evening, please do not scare them by making noise and/or shining light on them. Please be sure to stay out of their line of vision. Please do not go near the tread marks on the beach left by the mother sea turtle after laying her eggs. Also, please do not go near the area where the eggs are laid. Sea turtle eggs are protected under the Okinawa Prefectural Regulations on Fisheries Adjustment, and the collection or removal of sea turtle eggs are subject to punishment. To protect the rich and beautiful nature of Tonaki Island, where the sea turtles will continue to lay their eggs in a safe environment, kindly abide by our rules and regulations.

水産動植物の捕獲禁止

沖縄県では、漁業者以外の者が潜水器や水中銃などを使って海の生物を獲ることや、まき餌及び照明を使用しての釣り等を「沖縄県漁業調整規則」で禁止しています。また、造礁サンゴ類や海がめの卵も採ってはけません。これらのルールを守らないと6ヶ月以下の懲役若しくは10万円以下の罰金、またはこれらを合わせた罪に問われます。渡名喜村漁業協同組合では、漁協所属の漁業者以外の者が次にあげる水産動植物を捕ることを禁止しています。イセエビ(体長18cm以下)、夜光貝(口径6cm以下)、タカセ貝(殻の短径6cm以下)、ヒロセ貝(殻の短径6cm以下)、サザエ(口径3cm以下)、ヒメジャコ(殻長8cm以下)、シャゴウ(殻長15cm以下)、ヒレジャコ(殻長20cm以下)、ヒレナシジャコ(殻長30cm以下)。安全で楽しい海の遊びを満喫するためにもマナーとルールを守りましょう。

[Harvest/Capture of Aquatic Plants & Animals is Prohibited]

In line with Okinawa Prefectural Regulations on Fisheries Adjustment, capturing or harvesting marine organisms with the use of diving equipment and/or spear gun, and fishing by dispersing chum or ground bait by those other than permitted fishermen are prohibited. The collection of reef-building corals as well as sea turtle eggs is also prohibited. Violations of these regulations may result in a six-month or less prison sentence, or a fine of under 100,000 or both. The Tonaki Village Fishery Association prohibits any individuals who are not members of the Association to collect, harvest and/or capture any of the following aquatic organisms: Japanese Spiny Lobsters (body length: under 18 cm); Great Green Turban Shells (width of opening: under 6 cm); Topshells (length of shell: under 6 cm); Hirose Shells (length of shell: under 6 cm); Horned Turban Shells (width of opening: under 3 cm); Crocus Clams (shell length: under 8 cm); Giant Clams (shell length: under 15 cm); Fluted Giant Clams (shell length: under 20 cm); and Smooth Giant Clams (shell length: under 30 cm).

To ensure a safe and enjoyable time at the beach, we kindly ask all visitors to observe the rules, regulations, and social etiquette.

自然とふれ合いながら海の楽しさを満喫するためにも、マナーとルールをきちんと守りましょう。

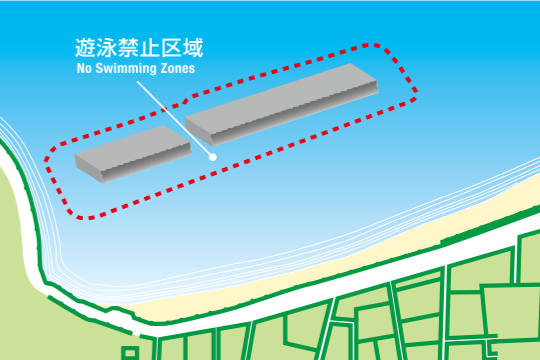
To ensure an enjoyable time at the beach while interacting with nature, we kindly ask all visitors to observe the rules, regulations, and social etiquette.

あがり浜を利用する皆様へ For Visitors to Agari Hama Beach

【注意】遊泳禁止区域

消波ブロックの内側及びその周囲は、流れが急激に生じることがありますので遊泳禁止区域となっています。

[Caution] No Swimming Zones
Swimming is prohibited in the zone within the wave-dissipating blocks as well as its surroundings due to abrupt changes in undercurrents

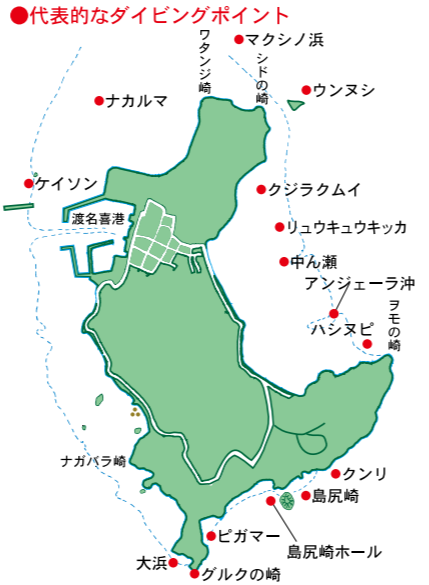


【渡名喜村緊急時避難場所】
 渡名喜村では、緊急時の避難場所として下記の場所を指定しています。地震・災害等の緊急時には係員の指示に従って、速やかに避難するようにしてください。

- 渡名喜村立幼・小・中学校
- 防災タワー
- 渡名喜村防災支援センター

となきの海

現在渡名喜島には、ダイビングショップが無い為、島外のダイビングショップを利用し潜ることしかできません。しかし、透明度の高い美しい海には、ダイビングスポットが点在しており、有名なブルーホールやたくさんのお宝を巡ることができるポイントなど、魅力が詰まっています。



これは知って！
となきの自然。
素敵なこと、
変わっていること、
いろいろあるから島の旅
はおもしろい。

バスタオルは必需品

じつは渡名喜に宿泊する時に絶対に忘れてはいけないのがコレ。バスタオルは、一部の民宿にしか用意されていません。そして島内の売店で販売もされてないので島に来る時はバスタオルを忘れずに！



となきの植物



●キバナノヒメグリ
日当たりのよい山裾や原野に生える多年生草本です。茎は単立し、高さ40～100cmになります。葉は線形で柄がありません。花は横向きまたは斜め下向きに開き、先が反り返ります。渡名喜島と久米島などに生育しています。



●ハマボウフウ
方言名：ハマコボウ
海岸の砂浜に生える多年生草本です。根は深く地中に垂直にのび、葉はやや多肉質で光沢があり、花は白色の小さな花を密につけます。新芽は刺身のつまとしても食べられます。



朝起き会
島の子どもたちはとても早起き。ラジオ体操が終わった後、白砂の道を掃き清める「朝起き会」は、大正時代から100年以上も続いている他の島にはない古き良き伝統です。これらの活動が、平成15年度には、「白砂の道に続く竹ぼうきの筋」をスローガンに『農村アメニティ・コンクール』で農村振興局長賞を受賞しました。また、平成18年にはAC公共広告機構のCMで全国に紹介されました。



●サイヨウシャジン
方言名：ツリガネソウ
日当たりのよい低地原野から山地路にかけて見られる多年生草本。茎は高さ20～60cmくらいになり、葉は線形。淡紫色した花を下向きに咲かせます。



●リュウゼツラン
数十年かけてゆっくり成長し、1度だけ花を咲かせる珍しい生態の植物。渡名喜島には多く自生しているため毎年この花を見るのが出来ます。



●ガンバイヒルガオ
方言名：ハマカンダー
海岸の砂浜に多く見られる多年生草本。茎は地上を這い、長さ3～5mくらいになり広く広がる。島ではかつて茎を集めて綱引きの綱として利用していました。



●テッポウユリ
方言名：ユリ
海岸近くの岩場から山裾の原野にかけて見られる多年生草本です。春には芳香のある純白色の美しい花を咲かせます。島尻毛で多く見られます。



●ショウキゼイセン
方言名：ヒガンバナ
暖地の草原や林縁に見られる多年生草本です。葉に先がけて30～50cmの花茎を伸ばし、頂端に鮮黄色の美しい花を咲かせます。



●チョーメイグサ
方言名：サクナ、チョーミーグサ
海岸近くの断崖や岩上に生える多年生草本です。茎は直立し、高さ20～50cmくらいです。「長命草」として知られ、様々な薬効があります。

お母さんの手作り 生活改善グループ



島の農産物を使った化工品を開発・製造している元気なアンマー（お母さん）たち。島野菜を使ったお菓子や漬け物など、新しい美味しさを作り出しています。

となき特産品あれコレ!

たくさん作れないからこそ、ひとつひとつ丁寧に作る。恵まれた自然を活かした商品の数々。

●となきの新鮮野菜シリーズ

新鮮な島野菜を使った秘伝のお漬物シリーズは、歯ごたえ抜群、ごはんのお供におつまみに最適です！食べきりサイズだからまずはお気軽にお試しください。

●きびだんご

もちきびを使ったきびだんごで中にはあんこが入っています。



●となきのお菓子

もちきびや島にんじんの葉っぱ、島の特産品を使ったクッキーは子どもにも大人にも大好評。船上でのおやつにぜひどうぞ！



●特産品島にんじんゼリー、キャロットゼリー

島の特産「島にんじん」でつくったゼリーです。島にんじんは滋養たっぷり細長くて黄色い人参。島の農家さんが手間ひまかけて無農薬栽培したものです。洋にんじんのゼリーと一緒にどうぞ!!

夫婦で手作り 島豆腐屋



夫婦で島豆腐を作っているお店です。にがりの代わりに渡名喜島の澄んだ海水を使用。その日の注文分だけ作っています。(月・水・金) ※要予約

イベント時期などの限定商品 買えたらラッキー!

とれたて新鮮な魚介類や海藻、豊かな海の幸がたっぷり味わえるのも島の醍醐味。海のことなら何でもお気軽にお問合せ下さい。

新鮮な海の幸

漁業協同組合



●ギブガラシュ(シャコ貝の塩辛)

漁協青壮年部が養殖したシャコ貝(ギブ)を塩漬けにした一品。離島フェアやとなき祭りなどで限定販売しています。

島の特産品

採れたてを 活かしてを。だから美味しい。特産品には季節限定もあります。

●もちきび

もちきびは無農薬栽培。となき祭りでしか手に入らない希少品です。ごはんに入れて炊くだけでうま味、栄養アップ!



●島にんじん

色鮮やかで大きな島にんじんは、栄養価が高く美味しいと市場での評価も高い。12~3月の収穫期限定で発売しています。